

ヨコスカは、こんなもんじゃない!

拜啓 横須賀市民のみなさまへ

今日も、子育てと仕事の両立に苦勞しながら生きる市民がいます。

まずは、子どもを育てやすい環境をつくっていききたい。

私自身、その必要性を強く感じてきました。選挙に落選し、

妻に家計を支えてもらっていた時期。

二人の子供を家庭福祉委員に預けて仕事を探した日々は忘れられません。

私は、横須賀に生まれ、横須賀に育ち、横須賀の可能性を信じています。

県や国、人や地域とつながって、この町はきっと復活できる。

父が受けた差別がもとで、政治を志しました。

今年で六三歳。

人生の楽しさも難しさも経験して、この歳だから見えること、言えることがあります。

人生の危機に、見離さず救ってくれた、一人の友人を見習って

横須賀を「誰も一人にしない町」にしたい。

上地克明

プロフィール

昭和 29 年 1 月 / 横須賀市吉倉町に生まれる。
昭和 41 年 3 月 / 横須賀市立逸見小学校卒業
昭和 44 年 3 月 / 横須賀市立桜台中学校卒業
昭和 47 年 3 月 / 神奈川県立横須賀高校卒業

昭和 52 年 3 月 / 早稲田大学商学部卒業
昭和 52 年 4 月 / 株式会社ニチリョウ入社
昭和 53 年 2 月 / 衆議院議員田川誠一秘書(国会及び川崎市担当)新自由クラブ神奈川県広報副委員長就任

昭和 58 年 / 川崎市宮前区において最年少で県議選初出馬。8,027 票の支持を受けたが惜敗
昭和 62 年 / 横須賀市において県議選出馬
平成 15 年 / 横須賀市会議員初当選(当選 4 回)

平成 20 年 / 原子力空母調査のため団長として訪米
平成 23 年 / 「横須賀市中小企業振興基本条例」を提案
平成 24 年 / 「横須賀市地域を支える条例」を提案
平成 25 年 / 「ニューウィング横須賀地域主権会議」を立ち上げる